

令和2年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり協議会の書面開催結果について

議 題

- (1) 令和2年度事業報告について
- (2) 令和3年度事業について
- (3) その他

【結果概要】

(1) 令和2年度事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症対策に取り組まなければいけない状況という制約の中で、概ね順調に事業が取り込まれ、最初の3年計画の事業の終了を迎え、今後県民の健康づくりへの活用の更なる展開が期待される。
- ・スマートヘルス推進事業で、スマートフォン用健康アプリ「kencom」の利用開始がすでに始まっているようだが、登録実績はどの程度で順調かを知りたい。
- ・愛媛県のビッグデータ研修会と管轄保健所での事業計画の連動があるとよい。
- ・モデル市町の見える化→施策化を管内の課題、我が町へ落としとして考え施策化ができる。保健所と市町のプロセスの共有と効果的な展開。
- ・コロナ対策の大変な中、愛媛県内の地域別の客観的データが明らかになり、エビデンスに基づく保健活動が可能となり、感謝する。特にコロナの感染予防のため従来の集団による健康教育や健康づくり活動が困難となっており、小グループで三密にならない健康づくり活動へのシフトを急ぐ必要があると思う。
- ・今回のデータが陳旧化する前に情報発信することが大切で、スマートヘルス事業や産官学プロジェクトを発展的に展開し、地域の健康づくり活動を後押ししてほしい。

(2) 令和3年度事業について

- ・令和3年度以降の事業が継続して計画されたことで、更なる展開が期待される。
- ・方向性については、令和2年度までの事業成果を踏まえた計画になっており、また、令和3年度に市町ごと保健所単位の取り組みの整理から始め、県庁や他の団体との連携の中で計画されているため、賛同できる。
- ・スマートフォン用健康アプリ「kencom」の活用に関連して、お知らせ情報掲載機能（配布資料p63）の活用等で、愛媛県のビッグデータ分析からのフィードバック（我がこと情報の提供）ができると良い。
- ・中予保健所実践ワーキングチームとの情報共有・連携を今後もしっかりお願いしたい。
- ・コロナの感染予防対策としての外出自粛等により多くの住民が運動不足や肥満、ストレスを感じており、地域性や味付けの嗜好などの生活背景を加味し、健康づくりと感染予防対策がコラボした情報提供や実践が必要かと思う。
- ・スマートヘルスケア事業や産官学連携協定に医学部を巻き込んだ循環器病対策は、県民全体への大きなアピールとなる事業であるが、国保加入者のみが対象であったり、研修会

のみではアピール度が半減するような気がする。循環器病対策と心不全予防については、医学部だけでなく地域の医師会等も巻き込んだ県民運動となることを期待する。

(3) その他

- ・書面開催という制約の中で、令和2年度事業の代表者会議の様子や出された意見に関する情報提供はなかったが、担当者間の情報交換（工夫や悩み）の機会の確保等に関連する点も含め、次年度は情報提供をお願いしたい。
- ・愛媛県の心不全死亡率については、男女別年代別での高い統計が出ている。原因や生活習慣との関連を分析し実態が明確になれば、予防の手立てになると思うので、ぜひ分析を進めて頂きたい。
- ・国保連合会では KDB システムを所有し、分析に関する市町支援を行っており、健診・医療・介護のデータから、高血圧と脳血管疾患、介護度とのつながりは見えてきた。ただし、KDB システムには死亡に関する情報がないので、心不全に死亡に関する分析は KDB では限界があると感じている。
- ・P64にあるように、心不全は高血圧、糖尿病の基礎疾患が関連し、また虚血性心疾患を繰り返し起こすことで憎悪していく進行性の疾患でもある。死亡の分析をするには、実際に心不全で死亡した方の性別・年齢、基礎疾患を調べて関連を確認し、実態を調べることで、予防すべき疾患や対象者の明確化ができると考える。そのためには個人情報の問題等、課題は大きいと思うが、ぜひお願いしたい。